

令和5年度

試験名：推薦入試

【芸術専門学群】

区 分		標準的な解答例又は出題意図
科目記号	科目名	
A 1	論述	<u>出題意図</u> ：理解力、思考力、表現力をみる。 <u>採点のポイント</u> ：資料を的確に理解するとともに、資料の提起する問題を深く考え、文章で適切に表現していること。
A 2	鉛筆デッサン	<u>出題意図</u> ：観察力・描写力・画面構成力をみる。 <u>採点のポイント</u> ： ・モチーフを的確に観察し、モチーフや想定した立体物の携帯や質感が適切に描写できていること。 ・構図が工夫され、モチーフがバランス良く配置されていること。
P 1	論述	A-1 および A-2 <u>出題意図</u> ：与えられた課題についての観察力、理解力、表現力をみる。 <u>採点のポイント</u> ：課題を適切に理解し、自身の考えを客観的に論じているか。 B-1 および B-2 <u>出題意図</u> ：与えられた課題についての観察力、企画・構成力、表現力をみる。 <u>採点のポイント</u> ： 課題を適切に理解した上で、自身の考えを論理的に説明し、明瞭に表現しているか。
P 2	デッサン (木炭又は鉛筆)	<u>出題意図</u> ：絵画表現にかかわる観察力、描写力、画面構成力、感性の豊かさをみる。 <u>採点のポイント</u> ：モチーフを的確に観察し、対象の形態、質感、量感を捉え、構図、空間感、明暗の調子を工夫し、効果的に表現していること。
P 3	平面構成	<u>出題意図</u> ：色彩表現力、課題に対する理解力、着想の豊かさ、構成力、総合的な表現力をみる。 <u>採点のポイント</u> ： ・テーマや与えられた条件を適切に理解し、表現していること。 ・形と色彩の扱いを工夫し、バランス良く画面を構成していること。
P 4	立体造形 (手を含むモチーフの造形)	<u>出題意図</u> ：立体表現にかかわる基礎的な造形力、表現力、空間構成力、観察力をみる。 <u>採点のポイント</u> ：与えられた条件を理解した上で、対象を的確に捉え、感性豊かで立体的な表現に優れているかどうか。
P 5	書	臨書(漢字・仮名) <u>出題意図</u> ：漢字および仮名の古典作品の観察力と、それに基づく表現力を問う。 <u>採点のポイント</u> ：用筆・運筆や字形、全体構成に関する基本的な技法を習得しているか。 創作(漢字・仮名) <u>出題意図</u> ：半切二分の一による漢字の書の構想力、色紙による仮名の書の構想力を問う。 <u>採点のポイント</u> ：用筆・運筆や字形、形式に応じた構成を工夫し、効果的に表現しているか。